

平成二十七年 造幣局桜の通り抜け

俳句入選句

辻田 克巳 選

特選

(三句)

造幣の衛士の交代花の昼

大阪府大阪市

堀脇 正一

【評】

造幣本来よりも「通り抜け」を公開したための花人に対する「衛士」の含みがよみとれて「花の昼」が適切で効果的な場および刻となった。

桜咲くもどり寒波に敗けもせず

大阪府大阪市

飯田 伊佐夫

【評】

戻り寒の中で凜と咲く桜。冴え返るや寒戻るを演出する暖かくなってからの「寒波」が面白く新し味を感じる。季重なりは殆ど感じない。

咲き満ちて櫻淋しさはじまれり

奈良県生駒市

辻仲 悦子

【評】

開花や満開を充実とか爛漫とって祝ほぎ喜ぶのは見物するこちら側の都合や理屈で、桜にはこれを切っかけに始まる「淋しさ」ありとは。

入選

(五句)

戦火なき七十年の花万朶

大阪府堺市

古閑 祥子

ワゴンごと料理乗り込む花見船

大阪府枚方市

村上 由美子

花筵端を重ねて陣をとる

兵庫県加東市

桂 ひろし

花見船艫に小さき日章旗

奈良県北葛城郡

福武 京子

二日目の旅の桜の通り抜け

福岡県北九州市

加山 美由紀

佳作

(二五句)

雨になほ艶めく花や通り抜け

大阪府大阪市

村越 浩子

枝ゆれる万朶の花の重たくて

大阪府大阪市

中村 誠之

人に皆等しく死あり桜咲く

静岡県掛川市

伊藤 昭一

通り抜け花を指差す喃語かな

兵庫県三木市

堀脇 恵美子

水上バス過ぎしうねりや花筏

大阪府寝屋川市

宮川 久子

適当に男がたたむ花むしろ

大阪府大阪市

村田 利文

通り抜瓦斯灯点る花夕べ

大阪府大阪市

高木 智念

立寄り振り返り見る八重桜

大阪府大阪市

中村 恵美子

青空をキャンバスとして初桜

兵庫県西宮市

小西 彌生

花冷や一枚欲しき羽織り物

大阪府大阪市

横井 澄子

八十路前いまひとたびの通り抜け

大阪府堺市

田口 政邦

ぼんぼりにぽつと赤らむ桜かな

大阪府大阪市

川崎 郁子

夜桜の満開といふ重さあり

大阪府大阪市

大鹿 正男

此の春も桜をめぐる国うれし

大阪府枚方市

高野 五男

花人の万の一人となりにけり

大阪府大東市

堀 志皋

傘寿翁一服しては通り抜け

大阪府大阪市

高木 示生

花筏今年も同じ場所に寄る

大阪府大阪市

上松 直子

花冷や大川の風尖り来る

大阪府大阪市

濱上 ミツエ

花筵盲導犬の横に座し

兵庫県加東市

桂 ひろし

花吹雪歩みを止めて仰ぎをり

大阪府高石市

本井 巧三

弁当に散りこむ桜吹雪かな

徳島県徳島市

小林 三治子

へえーほんま？緑の桜があつたんや…

大阪府大阪市

山崎 京子

雪洞に灯の入るころや通り抜け

三重県松阪市

平田 冬か

花いかだ排水口でせめぎあい

大阪府寝屋川市

大西 孝雄

ポケットに花びら残る通り抜け

大阪府大阪市

広末 寛美

選者吟

辻田 克巳

咲き耐へて雨中の桜紅濃なり

忌を修しすなはち桜愛でゐたり

花吹雪馬齡嘉することきかな

桜散り止まず寸陰留まらず

桜見し睨閉づれば今日終る